

林業普及現地情報
2012-12号(通算170号)
平成24年11月26日
大船渡農林振興センター
記述者 上部明広

2×4工法における地域材の活用

けせんプレカット事業協同組合は、大東建託株式会社と協業し、2×4工法の賃貸アパートの住宅部材に、地域材のズギを供給することになりました。

今回は、この概要について報告します。

1 事業概要

今回の事業では、従来、2×4工法でSPFなどの外材を利用していた壁面を構成するスタッド材(間柱)に、新たに地域材のズギを利用します。

計画では、岩手県と宮城県で施工する賃貸アパート200棟で地域材を利用することとしています。

既に、大東建託株式会社盛岡支店と北上支店で施工が計画されており、地域材の利用拡大が期待されるとともに、林業・木材産業関係の雇用拡大も期待できます。

なお、プレカットは、平成23年度の国の3次補正予算を活用して設置している、2×4加工ラインで行っています。

2 施工事例

最初の賃貸アパートの建築が、平成24年9月に住田町世田米地区で開始されました。(図-1、図-2)

今回の賃貸アパートは、2階建て8部屋で、木材使用量は、製材品ベースで50m³程度となっています。

通常の仕様では、スタッド材のみに地域材を利用しますが、今回の施工では、構造用合板や壁材の枠にも、FSC認証を受けた地域材を利用しています。



図-1 スタッド材(間柱)等にズギを利用した施工



図-2 施工中の賃貸アパートの全景(1階の外側の壁が立ち上った状況)